

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所6号機の放射性物質の漏えいに関する調査結果について

平成 19 年 7 月 23 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所 6 号機原子炉建屋 3 階および中 3 階の非管理区域内において、7 月 16 日午後 0 時 50 分頃、水漏れを確認し、放射能が含まれていることを午後 6 時 20 分に確認いたしました。漏れた水の量は、約 0.6 リットル (3 階、放射エネルギーは約 2.8×10^2 ベクレル) 約 0.9 リットル (中 3 階、放射エネルギーは約 1.6×10^4 ベクレル) でした。

その後、この漏れ水が放水口を經由して海に放出されていることを確認いたしました。放出された水の量は約 1.2m^3 で、放射エネルギーは約 9×10^4 ベクレルと推定しております。

なお、放出は止まっており、6 号機の海水モニタの値に有意な変化はなく、法令で定める値以下であり、環境への影響はありませんでした。

(平成 19 年 [7 月 16 日](#)、[18 日](#)お知らせ済み)

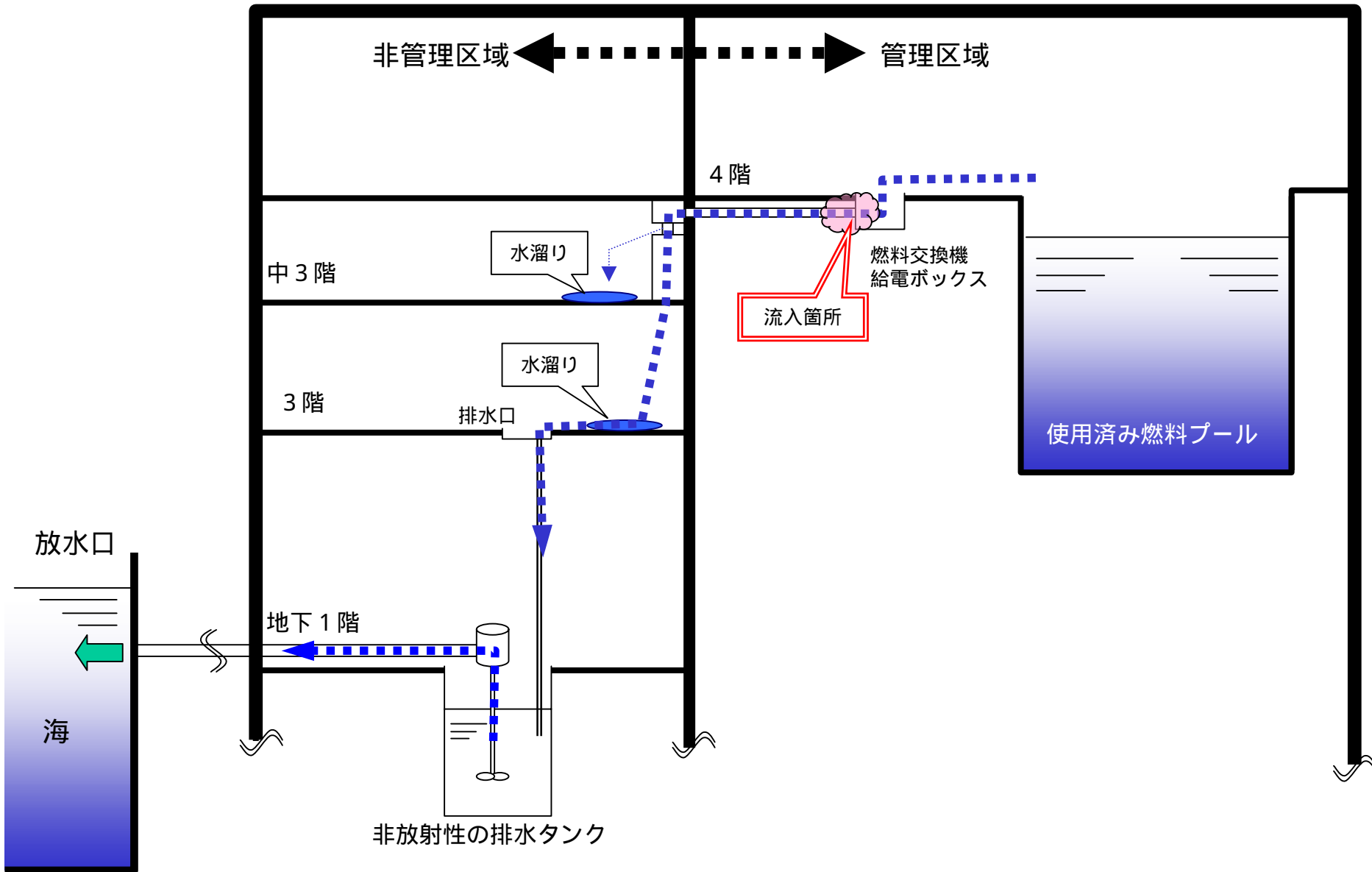
その後詳細に調査した結果、原子炉建屋 3 階および中 3 階の非管理区域内に水が漏れた原因は、以下のとおりと推定いたしました。

- ・ 原子炉建屋 4 階のオペレーティングフロア (管理区域) 上にあふれ出した使用済燃料プールの水が、同フロアに設置している燃料交換機給電ボックスに流入し、ボックス内電線貫通部のシール部の隙間から電線管の中に流入。
- ・ 流入した水が埋設した電線管を通じて非管理区域である原子炉建屋中 3 階の上部空調ダクト付近から滴下するとともに、中 3 階床面の開口部を通じて 3 階床面に滴下。
- ・ 3 階床面に溜まった水が、排水口を通じて地下一階に設置されている非放射性的排水タンクに流入し、最終的に放水口を經由して海に放出。

発電所外の環境へ放出させないための対策として、非放射性的排水タンクへの汲み上げポンプを停止しております。管理区域においては、燃料交換機給電ボックスのシール部材を交換し、隙間ができないよう貫通部の密閉性を向上いたします。

以 上

原子炉建屋



6号機 非放射性の排水タンクへの流入、系外への放出概略図

原子炉建屋4階オペフロ全景(管理区域)



燃料交換機給電ボックス



ケーブル貫通部